

本社部門で「ISO14001」認証を取得**当社の管理部門で環境マネジメントシステムを構築**

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、2000年11月29日（水）に、本社部門で環境管理システムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。認証機関は株式会社日本環境認証機構（JACO）です。

なお、当社ではすでに昨年3月、長津田車両工場が、鉄道車両整備工場としては国内で初めて「ISO14001」の認証を取得しています。

今回認証を取得した本社部門は、6つの事業部（交通事業部、都市開発事業部、ビル事業部、リゾート事業部、ホテル事業部、海外事業部）の管理部門と一般管理部門からなります。今回の認証取得によって、本社部門だけでなく当社の各事業所にも環境保全活動への参加意識が波及し、さらに当社は東急グループの中核企業という位置づけから、グループ各社に対しても意識向上が期待され、認証取得は大変意義のあるものと考えます。

当社の事業領域は「鉄道」、「街づくり」、「ホテル」、「リゾート」、「生活サービス」、「情報サービス」と幅広いため、認証取得に向けた目的・目標を、本社部門の共通事項と各部門ごとの事業運営に係る個別事項（例えば、『電力消費効率の改善』や『廃棄物排出量の削減』など）に分けて設定し、きめ細かく取り組んでいます。

本社部門の共通事項は次の4つです。

- ①電力使用量の削減
- ②OA用紙使用量の削減
- ③資源分別回収の徹底によるリサイクル率の向上
- ④グリーン購入の推進（備用品）

当社では1998年7月に設置した「環境活動推進委員会」が中心となり、1999年1月に「東京急行エコポリシー」を制定、同年4月から部門ごとに環境負荷低減に取り組む当社独自の環境管理体制「東京急行エコアッププログラム」に沿って活動しています。2000年度は、本社部門を対象とした「ISO14001」認証取得を掲げ、本年2月7日に清水社長がキックオフを宣言し、さらに8月14日には「東京急行電鉄株式会社本社環境方針」を社内に示し、環境マネジメントシステムを構築してきました。また10月には、当社の環境活動の現状をより多くの方々に詳しく知っていただくため、「2000年版 東京急行環境報告書」を発行しています。

当社本社部門の「ISO14001」認証取得の概要は次のとおりです。

本社部門の「ISO14001」認証取得について

- 取得日 2000年11月29日（水）
- 認証範囲 東京急行電鉄本社部門
※6事業部（交通事業部、都市開発事業部、ビル事業部、リゾート事業部、ホテル事業部、海外事業部）の管理部門と一般管理部門
- 本社部門従業員数 約1,200名（役員含む）
- 認証機関 株式会社日本環境認証機構（JACO）

（参考）

環境活動推進委員会の概要

- 設置 1998年7月1日
- 委員長 五島 哲（当社取締役調査役）
- 構成 当社の各室部および事業部の部門長、現在委員は22名
- 役割 「東京急行エコポリシー」ならびに「東京急行エコアッププログラム」を含む全社的な環境活動方針・計画の策定および推進、実施状況の把握、それに伴う総合調整を行う

東京急行エコポリシー（環境に関する経営方針）

私たちは、深刻化する地球環境問題を当事者として認識し、事業運営における自然環境への負荷低減を心がけます。そして、持続可能な社会の実現と地域社会への貢献を目指すため、一企業市民として社会的責任を自覚し、全社をあげて下記の方針により環境活動に取り組みます。

1. 資源とエネルギーの有効利用ならびに自然環境への負荷低減に配慮した事業を行う
2. 事業を営む地域の方々との関わりを大切にし、快適な環境の提供を通じて地域社会へ貢献する
3. 身近な活動を通じて社員一人ひとりの環境問題への意識を高める

東京急行電鉄株式会社本社環境方針

【基本理念】

東急グループは、1997年9月にグループ理念を制定し、経営理念のなかで自然環境との融和をめざした経営を行い、企業の社会的責任を全うすることを定めました。

東京急行電鉄株式会社は、環境に関する経営方針として定めた「東京急行エコポリシー」のもと、深刻化する地球環境問題を当事者として認識し、全社をあげて環境活動に取り組みます。

【方針】

本社は、鉄軌道事業、不動産販売事業、不動産賃貸事業、ホテル事業、リゾート事業ならびにその他の事業についての企画、計画、建設、運営および一般管理業務等を行っており、当社ならびにグループ企業意思決定の中核であることを自覚し、以下のとおり環境保全活動を推進します。

1. 事業活動が環境に与える、または与えうる環境影響を的確に捉え、その評価結果を考慮した環境目的・目標を設定して活動します。また、環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの見直しにより継続的に改善します。
2. 汚染の予防を含む環境保全活動を推進するため、「東京急行エコアッププログラム」を発展させ以下の項目に優先的に取り組みます。
 - (1) 再生品の利用等、環境に配慮した製品を優先して購入する「グリーン購入」に積極的に取り組みます。
 - (2) 循環型社会の形成を推進するため、事業活動に伴って発生する工事廃材等のリサイクルに積極的に取り組みます。
また、廃棄物の削減に努め、廃棄物の適正な処理を行います。
 - (3) 地球温暖化を抑制し、貴重な天然資源を次世代に引き継ぐため、電車走行における電力の効率的な利用のほか、施設運営等における省エネルギー活動に積極的に取り組みます。
 - (4) 新規事業展開および大規模工事の計画推進にあたっては環境への影響を事前に評価し、準備、運用、終結のすべての段階において環境負荷の低減に努めます。
3. 本社に適用される環境関連の法規制および本社が合意した取り決めに遵守します。
4. 顧客、株主および当社が事業を営む地域の方々との関わりを大切に、「東急109センター」ならびに環境報告書等を通じて良好なコミュニケーションに努めます。
5. この方針を全社員に周知させると共に身近な活動と教育によって社員一人ひとりの環境問題への意識を高めます。

当社の他事業所および関連する企業等に対しても理解と協力を要請します。

2000年 8月14日

東京急行電鉄株式会社

取締役社長 清水 仁

東急グループ各社の「ISO14001」認証取得状況

- ・ 1998年 2月 シロキ工業（名古屋工場）
- ・ " 10月 武蔵工業大学（環境情報学部）
- ・ " 12月 シロキ工業（藤沢工場）
- ・ 1999年 3月 東京急行電鉄（長津田車両工場）
- ・ " 9月 東急建設（技術研究所）
- ・ 2000年 3月 "（本社および東京支店）
- ・ " " 東急コミュニティー（ビジネスサービス事業部第一サービス部用賀事業所）
- ・ " 11月 東京急行電鉄（本社）